

✦ ✦ 第4回オープンダイアログ（OD）勉強会 感想紹介 ✦ ✦

OD を支援に導入することについて、聞くと話すのワークで話を聞いていろいろと考える時間になりました。

実際に自分が話す番で話してみた後、話そうと思っていたことと実際に話したことに差があることを感じ、考えていることが言葉として口から出る際にも自分の中にいくつかのフィルターがあるんだなあ

と。それは対話における場でも大なり小なりあるんだと思い、その人の本当の思いが正しく周りに伝わるまでには、やはり対話で多くの時間を重ねること、見えてくるのかなと感じました。

3人という人数がとても良かった。1番目に話し手をしたあと、2人の意見を聞いた際に、自分とは違う視点で考えていることが分かり、話しあった後も、メリットしかなかったです！

話すことは苦手だけど、話す事ですっきりする気持ちになれました。

なんとなく理解しているつもりでしたが新しい気づきや学びが多く、まだまだ知らないことがあるんだと実感しました。

特に「解決ではなく解消を目指す」という部分が、グループワークを通して自分の中に落とし込めたとき、とても重要なキーワードだと感じました。

今回が初参加の方と2人でのワークショップでした。その方の「困り事」を聴きました。じっくり聞く、それぞれの認識、一緒に見出す、を主に頭に置きながら、聴いて話すように努力しました。

普段の支援の中で、他部署の方と現場の支援の悩みや方法等を聴く機会も話す機会も殆どないので、利用者さんを理解するのにとても役に立った時間だったと思いました。

勉強会を通じて、他部署の職員と会話をする事が出来て、色々な考え方やとらえ方、さらには支援方法やアドバイス等を知る事が出来たので、参加出来て良かったと思いました。

OD の勉強会を重ねるうちに、OD を理解しようという気持ちをもって参加している人が増えて、素晴らしいと思いました。体験してみないとわからないことがたくさんあると思います。体験する場を、日常的に作っていくことが大切だなと感じました。

安心安全の場で、じっくりと聴くことで、自分の言葉を探しながら話をしている様子を見ることができました。自分の言葉を探している過程で、内側から考え、それと他の参加者の発言を聞くことで、新たな発見につながると感じました。